

杉妻学習センター市民講座 「すぎのめおもしろ歴史塾」

令和8年8月30日(日)
学習センター ホール

鈴木周次郎と杉妻100年史

講師 郷土史研究家 尾形 正承 先生 (杉妻地区史跡保存会 会長)



写真中央右の眼鏡を掛けているのが、杉妻村長の鈴木周次郎さんです。昭和11年～20年まで村長を勤めました。

杉妻小学校の移転改築・南福島駅の設置・森永乳業の誘致に尽力しました。

前杉妻村役場、駐在所落成祝賀式
昭和11年頃伏拝字畑田地内撮影
(鳥谷野・羽田仲男氏蔵)

南福島駅

- ・大正5年(1917)永井川信号所が開所
- ・昭和11年(1936)永井川信号所～日東紡間の専用線竣工
- ・以降、日東紡の製品が東北線を利用して各地へ。
- ・昭和30年ごろから、自動車の普及が激しくなり、日東紡製品がトラック輸送へ。
- ・昭和37年(1962)永井川信号所が、南福島駅として発足。
- ・現在、1日あたりの利用者数2,000人ちかくあり、利用者数が伸びている。



杉妻地区の発展は、鈴木周次郎をはじめその父・祖父の力が大きかった。

郷野目地区の貧しい生活から、日東紡の建設による人口の増加とそれに伴う八百屋・魚屋・菓子屋・洋品店の出店による生活環境の改善などを写真を交えて説明されました。